

中国 欧米からの文明吸収の歴史

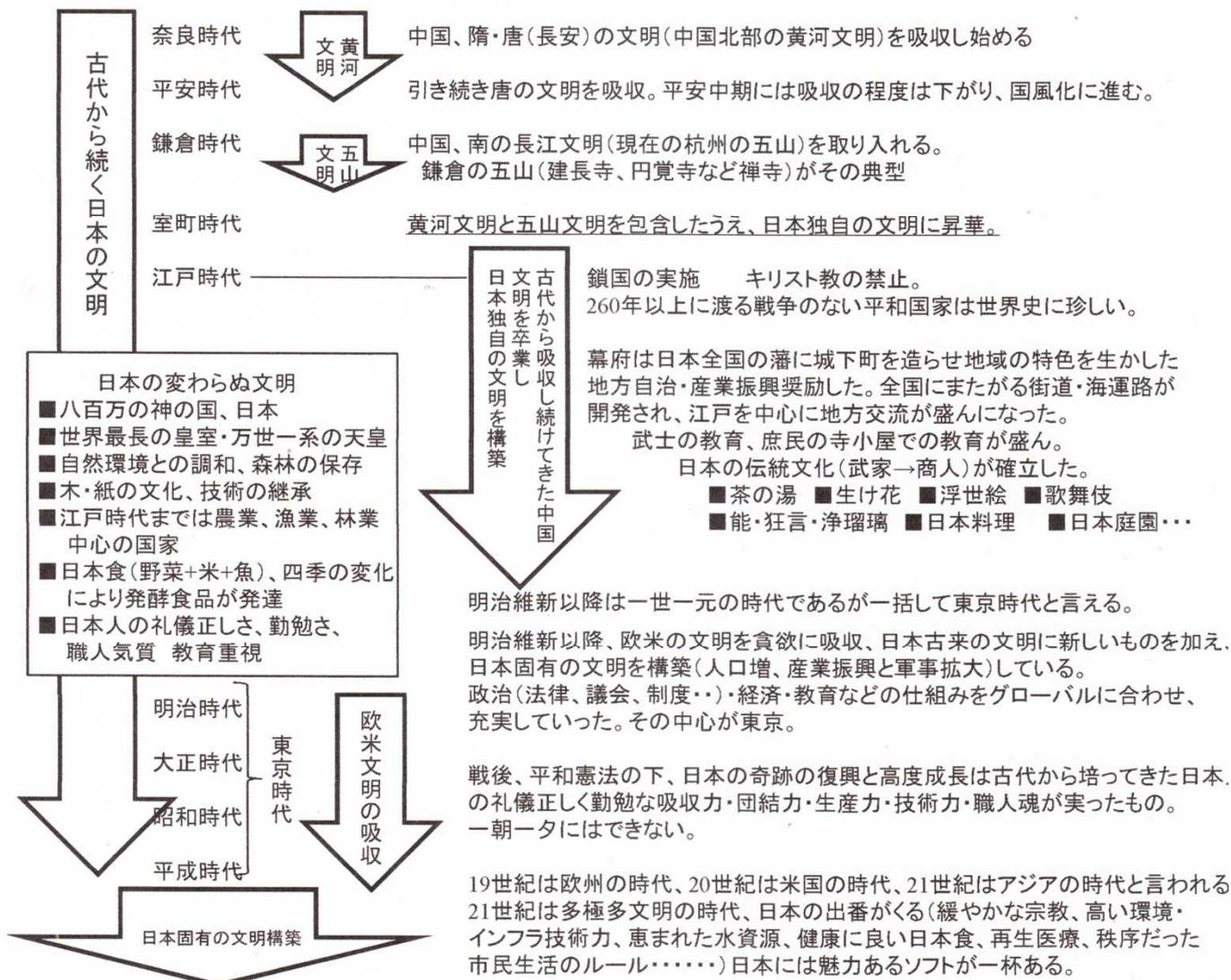
日本人は古代から続く日本の文明に外国(中国、欧米)から貪欲に吸収した文明を加味し日本独特の文明を構築してきた。

東京を見ると、古代から続く日本の文明の上に、中国文明、欧米文明を吸収し、日本独特の文明を構築してきた日本の首都の姿がわかる。
東京は伝統的なものと近代、現在の革新的なものが混在している都市です。

奈良時代から鎌倉時代までは中国北部の黄河文明、南部の五山文明を時代を追って吸収。室町時代(京都)には中国の黄河文明と五山文明の双方に学び、日本風にアレンジしていった。1200年守られてきた京都(794年、平安京として作られ、1994年に世界遺産に指定)の街には、それら独自の文明が残っている。日本人は京都に真の日本を見出している。

江戸時代に入ると、中国文明をマスターし日本固有の自立した独自の文化を切り開いていった。世界史から見ても珍しい260年以上内乱、鎖国の下、戦争のない平和な時代が続いた。庶民中心の文化が花開き、かつての輸入品の大半は国産化した。

明治維新後は、文明開化。欧米に追いつけ追い越せ！の国家方針のもと東京を中心に欧米文明の吸収に専念。明治から第二次世界大戦までは軍国主義、1945年の敗戦以降は平和主義で世界経済に貢献。次第に日本独特の文明(欧米文明を吸収した日本文明)を構築している。



明治維新以降は一世一元の時代であるが一括して東京時代と言える。

明治維新以降、欧米の文明を貪欲に吸収、日本古来の文明に新しいものを加え、日本固有の文明を構築(人口増、産業振興と軍事拡大)している。政治(法律、議会、制度...)・経済・教育などの仕組みをグローバルに合わせ、充実していった。その中心が東京。

戦後、平和憲法の下、日本の奇跡の復興と高度成長は古代から培ってきた日本の礼儀正しく勤勉な吸収力・団結力・生産力・技術力・職人魂が実ったもの。一朝一夕にはできない。

19世紀は欧州の時代、20世紀は米国の時代、21世紀はアジアの時代と言われる。21世紀は多極多文明の時代、日本の出番がくる(緩やかな宗教、高い環境・インフラ技術力、恵まれた水資源、健康に良い日本食、再生医療、秩序だった市民生活のルール.....)日本には魅力あるソフトが一杯ある。